

## 【目次】

1. 臨時休館中の友愛労働歴史館が再開いたしました、6月1日！
2. 当歴史館研究員の芳賀清明さんが逝去されました、5月18日！
3. 新渡戸稲造、1920年に国際連盟の役員に。1930（昭和5）年に日本労働会館建設を支援！
4. 「井堀日記」に見る反軍演説事件と社民系の社大党除名事件、1940（昭和15）年！

### 1. 臨時休館中の友愛労働歴史館が再開いたしました、6月1日！



友愛労働歴史館は新型コロナウイルスへの対応のため3月30日（月）から5月31日（日）の間、臨時休館を実施してきました。しかし、政府の「緊急事態宣言」が解除されたことを受け、6月1日（月）より展示室の見学や資料の閲覧などを再開しています。どうぞ友愛労働歴史館をご利用ください。

なお、ご来館に当たり以下の感染防止対策に協力をお願いしています。ご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

#### ○体温測定へのご協力！

非接触式体温計を準備しています。37.5℃以上の発熱がある方、咳、くしゃみ、鼻水、咽頭痛などの症状がある方はご遠慮ください。

#### ○来館時、手指の消毒へのご協力！

当歴史館展示室入口に消毒液を用意しています。

#### ○入館時・見学時のマスクの着用！

マスクのご用意のない方は、当館が用意したものをご利用いただきます。

### 2. 当歴史館研究員の芳賀清明さんが逝去されました、5月18日！



友愛労働歴史館の研究員で、友愛会創立者鈴木文治の生涯を描いた『鈴木文治のいる風景—日本労働運動の源流をつくった男—』（無明舎出版）の著者、芳賀清明さん（仙台市在住）が去る5月18日に逝去されました。享年73歳。心よりご冥福をお祈りいたします。

芳賀清明さんは高校の日本史の授業で、郷里の先輩鈴木文治が友愛会を創立し、日本の労働運動・社会運動に挺身したことに共感。自らも労働運動に取り組むべく、キリスト教系大学を卒業した後、就職した企業で長年労働組合運動（ユアテックユニオン、電力総連）に従事しました。

芳賀さんは在職中から鈴木文治の足跡を追って国内外の「ゆかりの場所」を訪れ、2010年に『鈴木文治のいる風景』を出版。また、2011年と2015年に「鈴木文治のゆかりの地を訪ねるツアー」を企画・主宰し、参加者に金成ハリストス正教会・金成歴史民俗資料館・鈴木文治生誕記念碑・吉野作造記念館などを案内しました。

また、芳賀清明さんは余り知られていない新渡戸稲造と鈴木文治・友愛会の関係に注目し、新渡戸稲造研究誌『新渡戸稲造の世界』（一般財団法人新渡戸基金）の第23号（2014年）に論文「友



愛会＝総同盟の機関紙・誌に見る新渡戸稲造」を、同 24 号（2015 年）に論文「新渡戸稲造と友愛会＝総同盟に連なる人びと」を発表しています。

なお、生前の芳賀清明さんから労働者教育や友愛会・総同盟に関する書籍が数多く寄贈されています。心より感謝いたします。

### 3. 新渡戸稲造、1920 年に国際連盟役員に。1930（昭和 5）年に日本労働会館建設を支援！



今から 120 年前の 1900（明治 33）年に『武士道』（英文）を出版し、100 年前の 1920（大正 9）年に国際連盟書記局社会部長（のちに事務局次長）に就任した新渡戸稲造（1862. 9. 1～1933. 10. 15）は、友愛会系労働組合のゆかりの人としても知られています。

新渡戸稲造について「ウィキペディア」は、「新渡戸 稲造（にとべ いなぞう、1862 年 9 月 1 日（文久 2 年 8 月 8 日） - 1933 年（昭和 8 年）10 月 15 日）は、日本の教育者・思想家。農業経済学・農学の研究も行ってた。国際連盟事務次長も務め、著書『武士道』は、流麗な英文で書かれ、長年読み続けられている。日本銀行券の五千円券の肖像としても知られる。東京女子大学初代学長。東京女子経済専門学校初代校長。」（要旨）と紹介しています。

新渡戸稲造は大正時代から友愛会機関紙にしばしば評論を投稿し、また総同盟（友愛会が改称）が 1930（昭和 5）年にユニテリアン教会・惟一館を買収して日本労働会館（現在の友愛会館）とした時、その建設を支援した日本労働会館建設後援会の一員でした。『財団法人日本労働会館 60 年史』（1991 年刊行）によれば、この建設後援会には新渡戸稲造の他、安部磯雄・賀川豊彦・鈴木文治・吉野作造が名前を連ねていました。

なお、新渡戸稲造と友愛会の関係については前述のように当館研究員・芳賀清明さんが、新渡戸稲造研究誌『新渡戸稲造の世界』（一般財団法人新渡戸基金）に論文 2 本を発表しています。

現在、友愛労働歴史館は展示室に彼の肖像画（写真）を常設展示し、友愛会を支えた新渡戸稲造へ感謝と尊敬の念を捧げています。

### 4. 「井堀日記」に見る反軍演説事件と社民系の社大党除名事件、1940（昭和 15）年！

友愛労働歴史館は現在、井堀繁雄（労働運動家・政治家・協同組合活動家）日記のデジタル化作業に取り組んでいます。80 年前の 1940（昭和 15）年の記述を読むと、2 月に斎藤隆夫の反軍演説事件があり、これに関連し社会大衆党から安部磯雄や片山哲、鈴木文治や西尾末廣らの社会民衆党系（戦後の民社党）国会議員が除名されたこと、さらに社民系と総同盟が新党・勤労国民党の結成に動いたが結社禁止になったことなどが記述されています。

---

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

---

発行：友愛労働歴史館

責任者：徳田 孝蔵

担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

Tel.050-3473-5325

Eメール [yuirodorekishikan@rodokaikan.org](mailto:yuirodorekishikan@rodokaikan.org) HP <http://www.yuirodorekishikan.com>

---

惟一館から 126 年、友愛会から 108 年

---